

栃木県テニス協会
総監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成25年9月28日(土)～10月2日(火)
- ・会場 世田谷区立総合運動場庭球場
世田谷区立大蔵第二運動場庭球場
駒沢オリンピック公園総合運動場テニスコート
- ・主催 (公財) 日本体育協会・文部科学省・東京都
(公財) 日本テニス協会・世田谷区

2. 試合方法

- ・競技は、各種別それぞれ3ポイント（単2・複1）とし、その勝敗は獲得したポイント数の多少によって決める。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切る。また、同時進行の場合も同様とする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：阿久津定之 選手：大橋可宏、鈴木佳太
 2. 成年女子 監督：渡邊千鶴 選手：上吉原あい、阿部美貴
 3. 少年男子 監督：毛塚英樹 選手：水淵功誠、和田隼友
 4. 少年女子 監督：松本直人 選手：佐々木遥、加藤美怜
- トレーナー：吉村健児

4. 試合結果

■成年男子 1回戦 対 北海道：9月29日(日)

栃木県 ②－1 北海道

S 1 大橋可宏 ●1－8○ 原田将来

S 2 鈴木佳太 ○8－5● 平井綾悟

D 大橋可宏 ○9－8● 原田将来
鈴木佳太 (7) 平井綾悟

2回戦 対 東京都：9月30日(月)

栃木県 0－② 東京都

S 1 大橋可宏 ●1－8○ 菊池玄吾

S 2 鈴木佳太 ●3－8○ 竹島駿朗

D 大橋可宏 打切り 菊池玄吾
鈴木佳太 竹島駿朗

■成年女子 1回戦 対 千葉県：9月29日(日)

	栃木県	0-②	千葉県
S 1	上吉原あい	●6-8○	涌井真耶
S 2	阿部美貴	●6-8○	磯貝綾子
D	上吉原あい 阿部美貴	打切り	涌井真耶 磯貝綾子

■少年男子 1回戦 対 福井県：9月29日(日)

	栃木県	1-②	福井県
S 1	水渕功誠	●5-8○	長谷川聡
S 2	和田隼友	○8-6●	清水計都
D	水渕功誠 和田隼友	●7-9○	長谷川聡 清水計都

■少年女子 2回戦 対 秋田県：9月30日(月)

	栃木県	②-0	秋田県
S 1	佐々木遥	○8-2●	田中虹河
S 2	加藤美怜	○8-0●	大島楓歩
D	佐々木遥 加藤美怜	打切り	田中虹河 大島楓歩

3回戦 対 岐阜県：9月30日(月)

	栃木県	0-②	岐阜県
S 1	佐々木遥	●5-8○	佐野結花
S 2	加藤美怜	●4-8○	山田紗矢香
D	佐々木遥 加藤美怜	打切り	佐野結花 山田紗矢香

5. 所感

今年から各ブロックの出場枠が基本枠プラス過去2年間の成績によるドント方式で決めることになり、関東は基本枠4と成績3の7枠、更に今年は東京が開催のため、関東ブロック予選は行わず本国体に出場をすることができ、5年振りに全種目の出場となった。

成年男子の本県代表は昨年と同じ大橋選手と鈴木選手です。昨年は関東ブロックで悔しい思いをし本国体出場を逃しました。そんな思いもあり、今年は必ず勝つと意気込んでいましたが、大橋選手が1か月ほど前に腰を痛め思うような練習ができませんでした。初戦の相手は北海道、シングルス1の大橋選手はやはり故障の影響が響き1-8で落としましたが、シングルス2の鈴木選手が意地をみせ8-5で勝利し、ダブルスに持ち込みました。先にマッチポイントを何度も取りましたが、もう一本が取れずタイブレーク、6-1リードから追いつかれ7-7、最後は2ポイント連取、何とか初戦突破を果たしました。

続く2回戦の相手は、第1シードの東京、ランキングも菊池選手は16位、竹島選手も43位、二人ともランキング上位のプロ選手です。どこまで通用するか楽しみな一戦でした。序盤、大橋選手も何とかボールに食らいつきましたが、少しでも浅くなるとエースを取られてしまい、菊池選手も更にギアを上げ、サーブ、ストロークのスピードが速くなりエースの数も増え、1-8でたたみ込まれ力の差を見せつけられました。鈴木選手も内容は競っていましたが、7ゲーム連取され、やっとスピードになれ3ゲーム連取しましたが、3-8で敗れダブルスに持ち込むことができず、ベスト8には入れませんでした。

成年女子の初戦の相手は第3シードの千葉県、シングルス1の上吉原選手の相手は、ランキング61位の涌井プロ、2ゲーム目の上吉原選手のサービスが0-40といきなりブレイクされそうになりましたが、そこから5ポイント連取でキープするとお互い6-7まで接戦となり、最後はブレイクされ6-8と惜しくも敗れてしまいました。シングルス2の阿部選手の相手はリコーの磯貝選手、ランキングも86位、日本リーグで活躍している選手です。磯貝選手はミスが少なく、阿部選手は2-7と追い込まれましたが、そこから驚異の粘りを見せ、スーパーショットを連発し4ゲーム連取、6-7とし阿部選手のサーブをキープすれば7-7に追いつくところでしたが、いきなりダブルフォルト、少し力がいってしまったか、30-40でマッチポイント、最後は相手に攻めきられキープすることができず、6-8で敗れ初戦敗退でした。

少年男子の本県代表は水淵選手と和田選手、2人とも足工大付属高の2年で初出場です。少年男子の対戦相手は福井県、シングルス1の水淵選手は接戦でしたが5-8で落としましたが、シングルス2の和田選手は8-6で接戦をものにし、ダブルス勝負になりました。惜しくも7-9で負けてしまい、2回戦に進めることはできませんでした。

少年女子の本県代表は昨年中学生ながら代表となった作新学院1年生の佐々木選手、また、加藤選手は海星女子高の2年生で初出場です。少年女子は2回戦からで、滋賀県に勝利した秋田県との対戦することになりました。佐々木選手が8-2で勝ち、加藤選手も1ゲームも落とさず8-0で勝利し3回戦に進みました。次の相手は第4シードの岐阜県、勝てばベスト8でしたが、さすがに相手も強く、佐々木選手もストロークで攻めていましたが、相手も粘って返され、5-8で落としました。加藤選手の対戦相手もベースラインで粘り、チャンスボールでミスが出てしまい4-8で落とし、残念ながら後1歩のところまで敗れてしまった。

今年も残念ながらどの種別もベスト8には届きませんでした。来年こそベスト8に残れる様、強化していきたいと思えます。これからも栃木県体育協会をはじめ、栃木県テニス協会のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。また、栃木から多くの皆さんが応援に来て頂き心から感謝を申し上げます。最後に選手をはじめ、監督、トレーナーの皆さん、本当にありがとうございました。